

# 一般質問 市政のここが聞きたい

第4回定例会の一般質問は、11月11日・12日・13日・14日の4日間で行われ、各議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、2月下旬から、市ホームページ（PDF版は2月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

魅力的な市の新しい施設に注目!  
引間 太一  
(ニューウェーブ)

安心して暮らせるまちへ  
当麻一哉  
(血栓クリア)

## 防災備蓄について 島崎 孝 (自民クラブ)

このものの頼もしい趙市は変わる  
高橋 和義  
(公明党)

四

## 民健康保険税の負担

担について

## 手塚治虫邸の公園整備と子育て機能

未来を育てる東久留米へ

「参りました」せやのせしめい

## 公立保育園は子どもの権利で存続を

国民健康保険税の負担について	
<b>質問</b>	かやま 玲子 (市民自治フォーラム)
<b>答弁</b>	改正内容をホームページに掲載し情報提供に努めており、今後も街頭活動や市広報、駆輪場への掲示など、さまざまな手段を活用し市民の方々へ行き渡るよう努めていく。
<b>質問</b>	国民健康保険税額が毎年上がり、個人の負担も増えているが、市の考えを伺う。
<b>答弁</b>	本市における制度維持のためには、今後も大変厳しい財政運営になると考へるが、決算補填等を目的とする法定外一般会計繰入れの抑制・解消を目指し、かつ医療費の適正化を図っていく。
<b>意見</b>	国民健康保険制度は、国民全員が平等に医療を受けられるよう国が制度的に保障する仕組みで、国が維持すべきものだが、地域単位で運営されるため、自治体への負荷が重い。国に対し一層声を上げるよう強く望む。

手塚治虫邸の公園整備と子育て機能	
<b>梶井 琢太</b> (市議会立憲民主)	<b>質問</b> 市は令和7年9月に株式会社手塚プロダクションと手塚治虫邸の活用協議に関する覚書を締結。手塚ブランドに加え、公園整備などで地域の課題解決につなげる。北部地域における基幹公園の整備構想の策定状況は。
<b>答弁</b> 今年度末を日目に整備構想を策定。手塚プロダクションの意向も伺い協議を進め、北部地域の複数の地域・行政課題を同時解決する新たな付加価値の創出を検討する。	<b>質問</b> 北部地域の子育て機能の課題解決は。
<b>答弁</b> 公共施設自体が少ない北部地域で子育て支援機能の在り方は、北部地域への基幹公園の整備構想の検討に併せ、関係各課で連携し課題等を整理し、検討を深めていく。	<b>意見</b> まずテーマを打ち出し特色と魅力を持たせ、その中で子育て支援機能等も位置付けるべき。例えば立川市の「まんがぱーく」は飲食含め漫画を楽しめる施設で、子育て機能やコミュニケーション機能も有する。機能を単に集めてだけでなく、テーマ性も重視し視野を広げて地域課題の同時解決を図つてほしい。

未来を育てる東久留米へ	
篠宮 よしのり (自民クラブ)	質問 妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援体制の整備、そして保育園・幼稚園に安心して通えるための支援体制について、これまでの実績と現状を伺う。
答弁 ①こども家庭センターの開設、②ファミリー・アテンダント事業の開始、③産後ケア事業やこどもショートステイ事業の拡充、④待機児童ゼロの継続、⑤一時預かり事業の対象の拡大、⑥巡回相談の対象の拡大、⑦義務教育就学児医療費助成、高校生等医療費助成の所得制限の撤廃、⑧図書カードの配布、⑨小山学童保育所の増改築などを行った。	質問 こども広報員事業について、改めて事業の概要や目的を伺う。
答弁 市内のこどもたちを「まちっこ広報部員」として公募し、こどもたち自らの視点で市の魅力を発見し、SNSや市広報紙などで情報発信することで、市民の皆様に市の魅力を再発見していただくことを目的とした事業。	要望 こどもや若者がまちの主役となるよう

【歩きたばこ】はやめましょう  
三浦 猛 (公明党)  
質問 東久留米市ポイ捨て等の防止及び喫煙の規制に関する条例では、喫煙禁止区域以外での路上喫煙の際は携帯灰皿を使用することを努力義務としているのみで、歩きこについては触れていない。歩きたばこを本条例に明記すべきと考えるが、他市の向と市の見解を伺う。

答弁 多摩26市中、全面的に歩きたばこを制している市は12市、禁止区域など一部を設けていない市が4市。環境美化推進協議会等とも連携しながら、歩きたばこも引き続き、人の通行が多い場所などでの喫煙の防止について周知・啓発に努めていく。条例により制定された条例とのことから、の皆様の声を基に、議員間でも話し合いを進め、また市側とも相談させていただきたい。

鴨志田 芳美（日本共産党）

質問 ちゅうおう保育園の公私連携型保育所への移行について、こどもの権利の視点から大きな問題があると考える。いったん立ち止まるべきでは。

答弁 対象園の在園児の保護者への説明会等を重ねてきており、引き続き、そうした意見を伺う機会を設けていきたい。

質問 今後の公立保育園の民営化計画に関して、こどもたちのどのような姿があるかを想定し、その上でどのような配慮がなされて、計画を進めていく考え方。

答弁 引き継ぎ保育の中で、保護者の意見も伺いながら、取り組んでいきたい。

質問 東京都は、補聴器購入の補助制度について、令和8年度までには都内全域でスタートさせるという目標を立てている。本市としても、スマートスタートでも、まずは一歩を踏み出すべきと考えるが、見解は。

答弁 広範な対象者に対する公的な助成については、まずは国が対応すべき課題と考えており、現時点で実施する考えはない。

同で行われ、  
ました。主な  
像は、市木  
は、2月下旬  
各コミュ  
。

安心して暮らせるまちへ  
当麻一哉  
(血栓クリア)

## 防災備蓄について 島崎 孝 (自民クラブ)

このものの頼もしい趙市は変わる  
高橋 和義  
(公明党)